

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

当組合は、総合事業体の強みを最大限に発揮し、農業・地域の成長支援、貸出の強化をはじめとした収益力の向上や合理化・効率化の徹底に取り組み、良質かつ高度な金融サービスの提供及び相談機能の充実・強化を通じて、地域に寄り添い、強固な事業・経営基盤を確立した農業・地域金融機関を目指すことを信用事業の基本方針としています。

当組合では、この方針のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

【1. に関する具体的な取組み】

- ・当組合では、様々な投資ニーズに沿った商品を揃えつつ、お客さまにとっての選びやすさも考慮し、一定の商品数に絞った「JAバンクセレクトファンド」をご用意しております。
- ・「JAバンクセレクトファンド」のラインアップは、主に「将来の備えに向けて、長期投資を前提とした投資信託であること」、「手数料が良心的な水準であること」、「過去の運用実績が相対的に良好であること」、「これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと」、「運用体制について、外部機関の評価を得ていること」をもとに商品を選定しております。
- ・選定にあたっては外部有識者の知見も踏まえ検討しており、定期的に各商品の運用実績などのモニタリングも行っております。

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さま一人ひとりの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に応じた、お客さまの思いにお応えできる商品をご提案いたします。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

【2. (1) に関する具体的な取組み】

- ・当組合では、お客さまに投資信託をご提案する際には、J Aバンク資産運用スタイル診断シートを活用し、3つの観点（①投資目的、②許容できるリターンの振れ幅、③相場変動時の運用方針）からお客さまのリスク許容度を確認し、リスク許容度に沿った個別商品をご案内いたします。

- (2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】
- (3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

【2. (2) および (3) に関する具体的な取組み】

- ・商品のリスク特性や手数料については、J Aバンクセレクトファンドマップ等の各種資材を用いて、分かりやすい説明に努め、お客さまの意向に基づいたご提案を行っております。また、販売後においても運用実績、市況等の情報提供により継続的なアフターフォローを実施いたします。

3. 利益相反の適切な管理

お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。【原則3本文および（注）】

【3. に関する具体的な取組み】

- ・当組合では、金融機関の利益相反の管理にかかる社会的要請が一層高まっているとの認識を深めており、当組合が定める「利益相反管理規程」等に基づき、利益相反のおそれがある取引を適切に把握し管理いたします。

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の励行を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さまの期待や想いにお応えできる態勢を構築します。【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

【4. (1) に関する具体的な取組み】

- ・当組合では、資産形成・資産運用に精通した担当者を幅広く育成し、お客さまの金融リテラシーの向上（投資教育）や安定的な資産形成・資産運用のお役に立てるよう努めまいる。